



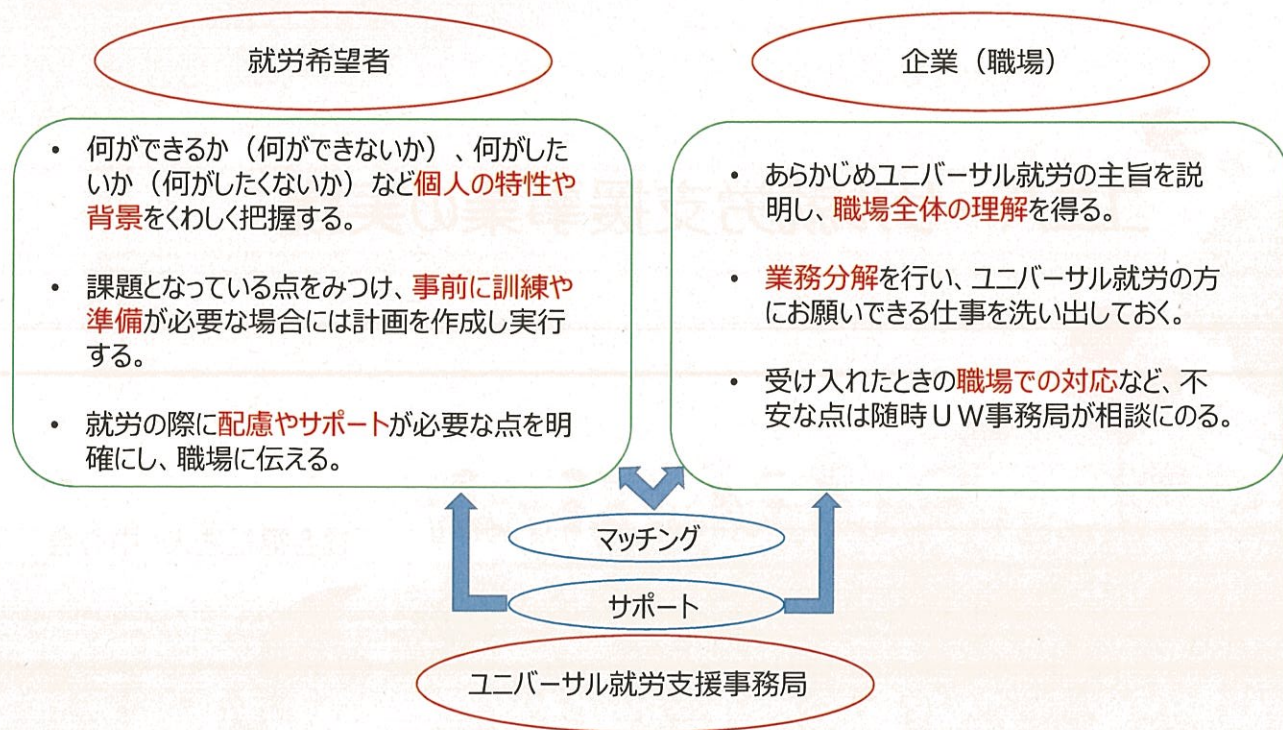
ユニバーサル就労支援事業の実践

社会福祉法人 中心会

ユニバーサル就労支援（UW）とは

- ユニバーサル就労支援は、「働きたいけれど働けずにいる人」を働けるようにサポートする仕組みです。
- 現在、社会にはさまざまな事情で働きたいのに働けずにいる人々があります。就労ブランクや、障がいのボーダー、心身の疾患など理由はさまざまです。仕事に就けないと、将来貧困に陥る可能性が高く、社会からも孤立してしまいます。しかし、障害者の基準には満たない、どこに相談していいかわからない、など制度の狭間にいて何らの支援も受けていない人も多くいます。
- そうした支援の網からこぼれ落ちてしまっている人々を含め、すべての「働きたいけれど働けずにいる人」を支援するのがユニバーサル就労支援です。
- ユニバーサル就労は、誰もがその人らしく働くことを目指します。個人の事情や特性に合わせた働き方ができるように、就労希望者だけでなく企業（職場）側もサポートしていきます。誰もが安心して働ける地域づくりをめざしています。

ユニバーサル就労支援の特徴Ⅰ



ユニバーサル就労支援の特徴Ⅱ

◎ユニバーサル就労支援事務局は、**さまざまな機関や行政の関連部署、企業や団体等と連携**しながら支援を行います。就労に困難を抱える人は、単に就職先が見つからないのではなく、他にも困難な事情を持っているケースが多くあります。就労の支援をするには、そうした**複雑で多岐にわたる問題を同時に解決**していく必要があります。

<ユニバーサル就労支援事務局の連携先>

・海老名市役所 ・海老名市社会福祉協議会 ・座間市役所 ・座間市青少年相談室 ・座間市社会福祉協議会 ・綾瀬市役所 ・綾瀬市青少年相談室 ・綾瀬市社会福祉協議会 ・厚木市役所 ・相模原市役所 ・相模原市社会福祉協議会 ・小田原市役所 ・神奈川県社会福祉協議会（ライフサポート事業） ・町田市役所 ・町田市社会福祉協議会 ・ハローワーク厚木 ・ハローワーク大和 ・ジョブスポットあやせ ・ハローワーク町田 ・町田市保健所 ・神奈川県中央地域若者サポートステーション ・神奈川県西部地域若者サポートステーション ・県中央地域就労援助センターほむ ・海老名市立わかば会館 ・地域活動支援センター結夢 ・神奈川県障害者職業センター／他、社会福祉法人多数

◎また、ユニバーサル就労を理解し、受け入れてくれる**企業ネットワーク**を作ることも事務局の大切な役割です。

<受け入れ先企業>

・W社（造園業） ・T社（IT） ・A社（人材派遣業） ・K社（パソコン教室） ・T社（プラスチックリサイクル業） ・T社（金属加工） ・D社（牛乳宅配） ・F社（パソコンリサイクル） ・A社（経理代行） ・S社（林業） ・B社（資源リサイクル） ・J社（旅行業） ・S社（運送業） ・F社（IT） ・K社（高齢者介護） ・G社（農業） ・Y社（梱包） ・T社（フリースクール） ・Y社（旅館） ・M社（製造業）

「生活困窮者自立支援事業」との連携

- 今年4月から各自治体に「生活困窮者自立支援相談窓口」開設。
- 初年度である今年、近隣市では「相談支援」（必須）のみの実施で「就労支援」（任意）は様子見のところが多い。
- 各窓口へUW事業の周知と、連携方法の確認を行った。
- 各窓口相談員からUW事務局へケース相談→UW事務局が同席して本人と面談→UW実習→市とUW事務局が連携して支援を継続する、という体制が整った。

5

2014年4月～2015年9月支援実績

- 相談件数 81件
- 支援開始 61件
- ユニバーサル実習実施人数 40人

6



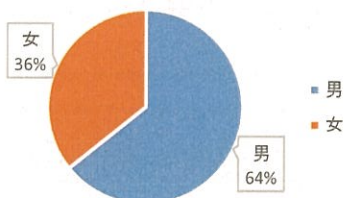
H26.4～H27.9 UW相談者内訳

男女比	
男	52
女	29
計	81

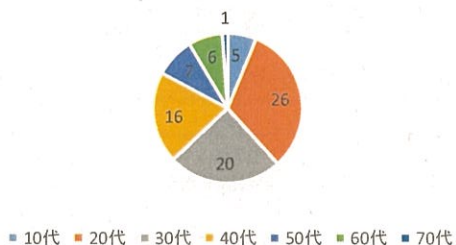
年代	
10代	5
20代	26
30代	20
40代	16
50代	7
60代	6
70代	1
計	81

経路	
本人から	22
家族から	15
市役所等の機関から	44
計	81

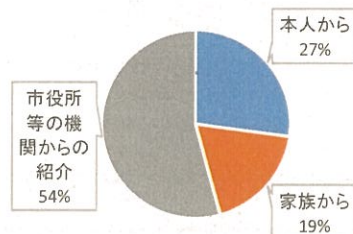
男女比



年代



経路



7

各施設での受け入れ状況

中心荘第一・第二老人ホーム	14
えびな北高齢者施設	21
えびな南高齢者施設	5
中心子どもの家	0
相模原南児童ホーム	2
外部法人	4

ユニバーサル就労支援の相談者

<相談者の例>

就労ブランクや経験不足	心身の疾患	生活困窮
<ul style="list-style-type: none">・ひきこもり状態にある人・就労ブランクが長い人・コミュニケーションが苦手な人・応募しても採用される自信がない人・就職活動のやり方がわからない人	<ul style="list-style-type: none">・病気で働き方に制約がある人・障害の手帳は持っていないが、何らかの障がいの可能性がある人・心身に不調があり、職場の理解や配慮が必要な人	<ul style="list-style-type: none">・就職活動ができずにいる人・必要な情報を得られずにいる人・キャリア形成ができず、将来に不安を感じている人・生活の不安から不利な職場環境を変えられずにいる人

9

事例紹介

ケース① Aさん（45歳・男性）

- A市生活困窮者自立支援担当者からの相談。その後本人と面談。
- 高卒後、市役所に勤務していたが20代後半にうつを発症。31歳で退職。その後14年間無職。
- 70代の両親と同居し、親の年金で暮らしている。
- うつは良くなったが本人は自分を発達障害ではないかと思っている。（検査結果は問題無しだったが、本人は疑っている）
- 就職して自立しなければと思うが、不安感が強い。周囲からどう思われるか常に気にしている。




- 社会に慣れ不安を軽減すること、適性を見極め、就労への目標を定めることを目的に、UW実習を実施。
- 中心荘で週5日、1ヶ月間通ったところで気持ちが不安定になり、1ヶ月間中断。再開して現在週4日通っている。
- 定期的な面談を行い、本人の気持ちを聞き取る。職場からの評価もフィードバックする。
- 面談にはA市の担当者も時々同席。A市とUW事務局が連携しながら支援を続けている。

10

事例紹介


ケース② Bさん（34歳・男性）

- 高校卒業後、15年間ずっと家にいて特に何もしてこなかった。仕事経験無し。
 - 母を早くに亡くし、祖母と父と暮らしてきたが、祖母が亡くなり、父と二人暮らしとなった。父が働き、本人は家で家事をする生活だった。その父が病気で急死し、一人になってしまった。近所に住む叔父、叔母が心配して相談に来た。
 - 社会経験が全くなく、仕事のイメージを持っていない。
 - アスペルガーの傾向が強いが、本人も家族・親族もまったくその点を認識してこなかった様子。そのため手帳取得も無し。
- 
- 毎日決まった時間・決まった場所に通うこと、社会人としての基本的なマナーやルールを身につけること、人と接しコミュニケーションをとること、などを目的にUW実習をスタート。
 - 毎日の仕事、職員とのやりとり、定期的な面談とふりかえり等をとおして徐々に社会性を身につけた。
 - 中心荘で2ヶ月間のUW実習。その後、他の法人にお願いして1ヶ月間のUW実習。
 - 自力で就職活動に入ったが数社で不採用。UW実習をお願いした法人が非常勤職員として採用してくれた。

11

事例紹介

ケース③ Cさん（55歳・男性）

- B市生活困窮者自立支援担当者からの相談。その後本人と面談。
 - ボイラー整備士として30年以上働いてきたが、50代の妻が若年性認知症になり、徘徊するようになり介護のため退職。
 - 失業給付と妻の障害年金が収入源だったが、退職から1年経ち失業給付が終了。貯金も乏しくなってきた。
 - 妻は要介護「2」でヘルパーさんは来るが、施設には行きたがらないので自分が介護するしかない。
 - 不安で「死にたい」と思うようになり、精神内科で「うつ」の診断。
- 

- 妻を週1回、デイサービスにお願いすることにし、その日を利用して本人はUW実習。
- 社会トレーニングというよりは、社会とつながっている安心感、相談先が常にある安心感、仕事の勘を取り戻すこと、罪悪感を持たずに妻と離れて過ごす練習、などを目的としたUW。
- えびな北高齢者施設で週1日、3時間のUW実習を1ヶ月間行った。この間、B市とUW事務局が緊密に連絡。
- 社会とのつながりを取り戻し、妻を預けて仕事をするという感覚を身につけた。週1回、ポスティングの仕事を始めた。

12

事例紹介

ケース④ Dさん（43歳・男性）

- C市生活困窮者自立支援担当者からの相談。その後本人と面談。
- 仕事が続かず、転々としてきた。2年以上のブランクができ、ひきこもっている。
- 70代・80代の両親と同居なので生活はできているが、将来が不安。（最初は両親が心配して相談に来た）。
- 非常にネガティブな性格。職場で不当な扱いを受けたと思ってしまう。新たに就職できないのは中卒のせいだと思っている。
- スーパーのレジ打ちで泥棒扱いされたり、警備の職場では長時間労働を強要されたりした。



- 「できること」から始めていき、自信を取り戻してもらうこと、本人の特性を見ること、就労への目標を定めること、を目的としてUW実習を実施。
- えびな北高齢者施設で週3回、3時間からスタート。2週間後には7時間に増やした。全部で6週間の実習。
- 実習の様子を随時、C市担当者に連絡。定期的なふりかえり面談にはC市担当者も同席。
- 自信回復と自己理解ができた。運送会社に正社員として就職成功。梱包・発送の仕事に従事。

13

事例紹介

ケース⑤ Eさん（25歳・女性）

- 小・中学校時代から周囲となじめなかった。中学卒業と同時にひきこもり、10年間ほとんど家で過ごしている。
- 家族と仲が悪いわけではないが、あまり会話がな。自室で過ごす。外出は犬の散歩とコンビニに行くくらい。
- 父がリタイアして家に居るようになり、娘をなんとかしなければと思って、まず両親が相談に来た。
- その後、本人と面談。緊張で真っ赤になり俯いている。声が小さく聞き取りにくい。



- まずは外に出てくる練習から。週1日、1時間から、えびな南高齢者施設でUW実習を開始。
- 10ヶ月間かけて、ようやく週2日、2時間通えるようになった。
- ほとんど人と話せなかったのが、笑顔で会話ができるまでになっている。
- 施設内の事務所で、書類整理などを行っている。事務職に就いてみたいというイメージを持てるようになった。

※実習継続中。

14

事例紹介

ケース⑥ Fさん（56歳・男性）

- D市役所の生活保護CWからの相談。
- 人間関係が苦手で、高校までは我慢して通ったが、高卒と同時にひきこもり、40年近くほとんど働いたことがない。
- 高齢の両親と同居していたが両親が相次いで亡くなった。
- 現在生活保護を受けながらD市内の簡易宿泊所で暮らしている。
- 本人に会ってみると、おどおどと不安そうな様子。左手に麻痺があり、作業には右手しか使えない。



- えびな北高齢者施設で週3日、3時間のUW実習。
- 軽いクイックルワイパーを使っての掃除、職員が絞っておいた雑巾で窓拭きなど、片手でできる仕事。
- 一度も休むことなく通いつけている。「自分に今日やることがある、というのが初めての経験」だと話してくれた。難しい利用者さんとの接し方など仕事面での成長ぶりが著しい。
- 実習開始から7ヶ月経ち、今月から「有償コミューター」となり、ますますやりがいを感じながら通っている。

15

UW実習事例紹介（Bさん・34歳男性）

- **実習の目的** まずは決まった時間に公共の交通機関を使って出てくることの練習。社会人としてのマナーや言動、社会のルールを学ぶ。そのうえで現場での仕事を実際に体験することで、自分の適性や興味を見きわめ、就職活動につなげていく。
- **実習場所** 中心会の高齢者介護施設「中心荘」および連携先法人の高齢者介護施設。
- **実習期間と時間** 1週目は13：00～16：00を週3日。2週目は10：00～13：00を週3日。3週目・4週目は10：00～16：00（休憩1時間）を週3日。5週目からは週5日。8週終わったところで中心会では終了。次の法人施設に移り、9：00～17：00で週5日。これを4週間やって実習を終了。
- **実習内容** 廊下、階段、玄関、リビング等の清掃。ごみの収集と分別、ごみ出し。加湿器のチェックと注水。シュレッダーかけ。食事の配膳・下膳。お茶出し。これらの業務を、職員から教わりながら行う。進行具合を報告したり、わからないときに質問したり、利用者さんや職員とあいさつを交わすことも練習に含まれる。一日の終わりにはふりかえりシートを記入し、その日の報告を行う。

16

業務分解シート				施設名 えびな北高齢者施設															
職種(介護)*日勤用				職種(介護)*選考用				職種(介護)*夜勤用				職種(介護職員、運転職員)*通所日勤用				UWで可能な仕事(介護課)		UWで可能な仕事(通所)	
時間	業務名	仕事内容	所要時間	時間	業務名	仕事内容	所要時間	時間	業務名	仕事内容	所要時間	時間	業務名	仕事内容	所要時間				
7:00	タオル準備	その日に使うタオルを準備する	10分	7:00				16:00				7:00							
	換気	ユニットの換気	15分																
	整容介助	ご利用者の起床介助洗面等行い身支度を準備する	20分																
	離床・誘導	起きる介助をしてリビングにご案内する	10分																
8:00	食事準備	食事の盛り付け、配膳をする	20分	8:00				17:00				8:00	送迎ミーティング		5				
	食事準備	食事の介助をする	50分										茶役準備		計40				
	食事準備	食事の介助をする	50分										お茶準備		30				
	食事準備	食事の介助をする	50分										トイレ準備		10				
9:00	下膳片付け	下膳して茶碗などを洗う	20分	9:00				18:00				9:00	利用者到着						
	リビング清掃	食べこぼしの清掃	10分					19:00					検面チェック						
	検温	入浴する方の熱を測る	10分										お茶接待						
	入浴準備	入浴する方の衣類を準備する	10分										入浴準備						
10:00	排泄介助	オムツ交換をする等	20分	10:00				20:00				10:00	利用者到着						
	おやつ介助	午前中のおやつを配るまた介助する	20分										レク提供						
	シーツ交換	シーツ交換する	10分										シーツ交換						
	清掃	掃除機・掃き掃除	10分										掃除						
11:00	レクリエーション	レクリエーションの提供をする	40分	11:00				21:00				11:00	利用者到着						
	離床・誘導	起きる介助をしてリビングにご案内する	10分										午前中体操						
	食事準備	食事の盛り付け、配膳をする	10分										口腔体操						
	食事準備	食事の介助をする	50分										昼食準備						
	食事準備	食事の介助をする	50分										食事盛り付け						
12:00	引継ぎ	下膳して茶碗などを洗う	10分	12:00				22:00	排泄介助	オムツ交換をする等	30分	12:00	昼食配膳						
	休憩								排泄介助				食事介助						
	休憩								排泄介助				食器片づけ						
	休憩								排泄介助				お昼寝準備						
13:00	引継ぎ	下膳して茶碗などを洗う	10分	13:00	引継ぎ		10分	23:00				13:00	昼休み						
	休憩								洗濯片付け		30分								
	休憩								引継ぎ		10分								
14:00	入浴介助	浴室の準備をする	15分	14:00	入浴準備	浴室の準備をする	15分												
	入浴介助	居室・廊下等の清掃	20分		清掃	居室・廊下等の清掃	20分												
	入浴介助	入浴の介助をする	70分		清掃														

17

作成日:平成27年10月15日

〇〇〇〇さんをお願いする業務内容

- ① 3階 3・4ユニットで活動をしていただきます。
- ② 報告・連絡・相談・確認は、3-3・4ユニットの職員と行ってください。
- ③ 〇〇所長・△△課長・□□補佐にも、困ったときには相談に来てください。
- ④ 今後、厨房内で活動を開始する場合はスケジュールを作り直します。

シーツ交換、加湿器清掃など仕事を少しずつ増やしていきましょう。

実習時間 9:00~16:00 ※3-3・4ユニット早番 担当の方へ 評価記録を記入してください。
 実習日程 月・火・金・土・日 週5日間(水・木 休み)

<業務内容>

★職員より実施方法を説明します。不明なことは、担当の職員へ聞きながら取り組んでください。

時間	業務内容	ポイント
9:00	食器洗い	朝食の食器を洗浄する。
10:00	1. リビング・居室清掃・結露拭き 担当職員より指示をもらってください。 2. 加湿器清掃・水の追加 ※職員の指示をもらってください。	① リビング・廊下・居室を清掃する。 ② ベッドの下の埃をとる。 ③ 床が濡れている場合は、利用者が転倒する恐れがあるので、乾いた雑巾で、から拭きをする。 ④ 洗面台を磨く。
12:00	休憩	
13:00	浴槽を清掃する3階(4か所)の浴槽を行う。 ※浴室などは、清掃が終了しています。	① 浴槽の栓を抜いて湯をすてる。 ② 洗剤で浴槽を洗う。
14:00	居室清掃・シーツ交換・階段清掃・トイレ清掃	職員の指示に従ってください。
16:00	退勤	退勤の前にふりかえりシートを記入し、担当職員へ今日の活動を報告する。

※仕事の内容で理解できないこと、やってみてわからなくなった場合など、必ず職員へ聞いてください。
 ※上記以外のことをお願いする場合は、その都度お伝えします。
 ※介護は絶対に行ってはいけません。ご利用者の話が判断できない場合は必ず職員を呼んでください。

18

職場実習ふりかえりシート

名前	実習場所	中心在
実習日	2014年 11月 4日 (第 1 日目)	
今日はどんな仕事をしましたか?	モリアがけ エウギんがけ カラがけ はきそうじ コミひら	
よくできたことは何ですか。	日時間の中でできていたと思う。	
できなかったこと、難しかったことは何ですか。	道具を使う時その場を 迷惑 な人が いるとすればいいかながらな	
わからなかったこと、質問したいことはありますか。	テレビの音をよくとぎのやりあががらな	
*あてはまるところに○をつけましょう。(1:できなかった~5:よくできた)		
挨拶・運事が自らできた。	1	2 3 4 5
報告・質問が自らできた。	1	2 3 4 5
時間や決まりを守れた。	1	2 3 4 5
職場の方と協力して仕事ができる。	1	2 3 4 5
正しい言葉遣いができた。	1	2 3 4 5
仕事の内容を正確に理解できた。	1	2 3 4 5
すばやく仕事ができる。	1	2 3 4 5
集中して仕事ができる。	1	2 3 4 5
準備や片づけを自ら進んでできた。	1	2 3 4 5
身だしなみをきちんとした。	1	2 3 4 5
今日の感想を書いてください。	初めてだから自分で自分にやめて と怒ります。	
明日の目標を書いてください。	もっとこりりよくてきれはいいと思う。	

ユニバーサル就労事務局 伊藤

職場実習記録シート

実習生氏名	実習場所	中心在	記録者
実習日	2014年 11月 4日 (第 1 日目)		
今日の仕事内容	第一号入館 3F 食堂内 ・モリアがけ ・エウギんがけ ・カラがけ ・ゴミの回収		
*あてはまるところに○をつけてください。(1:できなかった~5:よくできた)			
挨拶・運事が自らできた。	1	2 3 4 5	④
報告・質問が自らできた。	1	2 3 4 5	④
時間や決まりを守れた。	1	2 3 4 5	③
職場の方と協力して仕事ができる。	1	2 3 4 5	④
正しい言葉遣いができた。	1	2 3 4 5	③
仕事の内容を正確に理解できた。	1	2 3 4 5	④
すばやく仕事ができる。	1	2 3 4 5	②
集中して仕事ができる。	1	2 3 4 5	④
準備や片づけを自ら進んでできた。	1	2 3 4 5	③
身だしなみをきちんとした。	1	2 3 4 5	③
気がついたこと、感じたことを自由に書いてください。	仕事内容の準備時間がかかると(10分程)荷物 を出すと、準備時間は、行くと戻ると大変な事が多い。 ・ゴミの回収はと水で洗。その後の片付けも、その と内容で整理をつけている。		
事務用コメント			

ユニバーサル就労事務局 伊藤

19

UW受け入れにあたって施設側が気をつけているポイント

- 「UW実習生の特性や課題」「実習の目的」「本人の目標」を現場職員に周知する。
- とくに実習生が何に不安を持っているかを把握しておき、そこに自信をつけることに重点を置く。
- 職員には、UW実習生について気になる行動や発言があったら報告してもらう。

(困った点も、良い点も、現場が多くのこと気づいてくれている)

- できていない点はその都度指導する。良い点は必ずほめるようにする。
- 日々のふりかえりで、目標の達成度合いを本人と確認する。
- 障害の可能性がある場合にはとくに注意する。見立てのポイントになりそうな点をUW事務局に伝え、支援者間で協議する。
- UW実習生は突発的な休みも多い。その点を現場でもよく理解して対応する。

UW受け入れをして良かった点・施設としての効果

- ほぼ毎日、複数のUW実習生が来ているので、職員たちは「世の中には困難を抱えている人がこんなに大勢いる」と実感し、福祉の仕事への使命感が強くなっている。
- 人を指導することで、職員自身の成長にもつながっている。
- UW実習生が成長していく様子を直に見られるので楽しい。現場が活気づく。
- 実習後にUW実習生が仕事に就いたと知ると達成感があり、職員のモチベーションも高まっている。
- 多忙な現場で手がまわっていない部分（階段や廊下の隅々の掃除、施設周辺の掃き掃除など）をUW実習生がていねいにやってくれるので、専門的な介護に時間をかけられるようになり助かっている。
※ただしこれは副産物的な効果。

